

被曝後のこれからを考える

チェルノブイリをご存知ですか？ 30年後の福島を知るために・・・

白石草 講演会

「たらちね」測定報告会・・・私たちが失ったものを見つめて

2014年12月21日（日）

13:00 開場 13:30 開演～16:30 終了

場所：いわき市生涯学習プラザ 4F 会議室

参加費：無料

主催・問い合わせ：NPO 法人いわき放射能市民測定室 たらちね

2011年3月11日・・・あの日から、もうすぐ4年が過ぎようとしています。故郷を離れなければならなくなった人々、地域の自然とふれあいながら育つことができなくなってしまった子どもたち、止まることがない海への放射能の汚染水流失そして決まらない放射性廃棄物の行方・・・

原子力発電所の事故が起きて事故を起こした東電に「私たちが失ったものをいつになったら返してくれるのか？」と問いかけても、その答えができません。

チェルノブイリでは事故からおよそ30年が過ぎようとしています。そこで今だに健康被害を抱える子どもたち、それを支え育む大人たちの葛藤、そしてもとには戻らない自然環境。

私たちの時代に、人間だけでなく、地球の生命そのものの息の根を止めるような大惨事が起きてしまいました。

これから先の月日を見つめ考えたとき、「今、私たちに何ができるのか？何をすべきなのか？」を知り、それを学ぶことが必要です。

その時代その時代の責任を担う大人たちが、その責任を果たしていかなければ子どもたちの未来と、それを育む自然を守ることはできません。

自分たちに今、何ができて、何を行うべきかをチェルノブイリの今を取材されてきた白石草さんのお話を聞き学び、私たちと一緒に考えてください。

たらちね一同、みなさまのお越しを心よりお待ちしております。

日時：2014年12月21日(日)
13:00会場 13:30開演～16:30終了

場所：いわき市生涯学習プラザ4F会議室
(〒970-8026 いわき市平字一丁目1 ティーワンビル内 電話 0246-37-8888)

アクセス：最寄り駅 JRいわき駅から徒歩540m
<http://www.city.iwaki.fukushima.jp/map/1314/002559.html>

参加費：無料

託児：あり (2才以上 2才以下は応相談。必ず事前にお申し込みをお願い致します)
※お子さんの年齢、性別、お名前、お母さんの携帯番号をお知らせください。
託児用持ち物:着替え・おやつ・飲み物・お弁当

主催：NPO法人いわき放射能市民測定室 たらちね
(〒971-8162いわき市小名浜花畑町11-3 カネマンビル3F)
TEL/FAX 0246-92-2526 Eメール tarachine@bz04.plala.or.jp
ホームページ：<http://www.iwakisokuteishitu.com/>

「沖縄・球美の里」子ども保養プロジェクト 参加者募集開始！

福島県内及び近隣の汚染地域に居住するお子さんを対象に募集いたします。
0歳～中学3年生まで

日程：2015年1月21日～1月30日
2015年2月9日～2月18日
2015年3月5日～3月14日



詳しくは「沖縄・球美の里」ホームページ<http://kuminosato.net/>をご覧ください。
定員になり次第、終了いたします。

★申し込み・問い合わせについて★

NPO法人 沖縄・球美の里いわき事務局
(〒971-8162福島県いわき市小名浜花畑町11-3)
電話/FAX 0246-92-2526/Eメール tarachine@bz04.plala.or.jp
担当:のさき

白石草 (しらいしはじめ) プロフィール

1993年、早稲田大学卒業。番組制作会社を経て、東京メトロポリタンテレビジョン入社。ビデオジャーナリストとして、ニュース・ドキュメンタリー番組の制作に携わる。

2001年に独立し、同年10月 OurPlanet-TV 設立。代表理事に就任。現在、一橋大学大学院社会研究科客員准教授、早稲田大学ジャーナリズムコース講師。

著書に『ビデオカメラでいこう～ゼロからはじめるドキュメンタリー制作』(七つ森書館)、『メディアをつくる? 「小さな声」を伝えるために』(岩波書店) ほか多数。

貧困ジャーナリズム大賞(2011年)、放送ウーマン賞2011(2011年)、第55回日本ジャーナリスト会議(JCJ) 賞受賞(2012年)、やよりジャーナリスト賞特別賞【メディアの役割】受賞(2012年)、科学ジャーナリスト大賞(2014年)を受賞。

